

2014年3月期 連結決算ハイライト

阪和興業株式会社

(単位：億円 億円未満切捨て)

2014年3月期 決算の概要

・本年度決算は、鉄鋼事業や石油・化成事業での増収などにより、売上高は前期比11%増の1兆6,825億円となりました。また、当期純利益は市況の回復による採算改善や特別損失の減少などにより、前期比67%増の78億円となりました。

・中間配当6円、期末配当見込み6円と合わせて、年間配当は12円を予定しております。

経営成績	当期	前期	前期比		主な要因
			増減	増減率	
売上高	16,825	15,113	1,712	11%	(売上高) 鉄鋼事業や石油・化成事業における商品市況の持ち直しと販売数量の増加が寄与し、前期比11%の増加。 (販管費) 前期比で9%、29億円の増加。その内、新規連結した子会社影響は約13億円。人件費は約18億円(内、新規連結子会社分約8億円)の増加。大きな貸倒は未発生。 (営業外損益) 営業外収入は為替差益の増加などにより、31%の増加。営業外費用は為替差損が減少したことから、25%の減少。 (特別損益) 海外子会社や関連会社株式の減損による投資有価証券評価損約7億円他を計上。
売上総利益	513	447	66	15%	
販管費	351	322	29	9%	
営業利益	162	124	38	30%	
営業外収益	27	21	6	31%	
営業外費用	43	57	△14	△25%	
経常利益	146	88	58	66%	
特別利益	1	—	1	—	
特別損失	8	20	△12	△56%	
税引前当期純利益	139	68	71	105%	
法人税等	59	20	39	194%	
少数株主利益	1	0	1	69%	
当期純利益	78	47	31	67%	
E P S	38.11円	22.78円	15.33円	67%	
当期包括利益	146	66	80	122%	

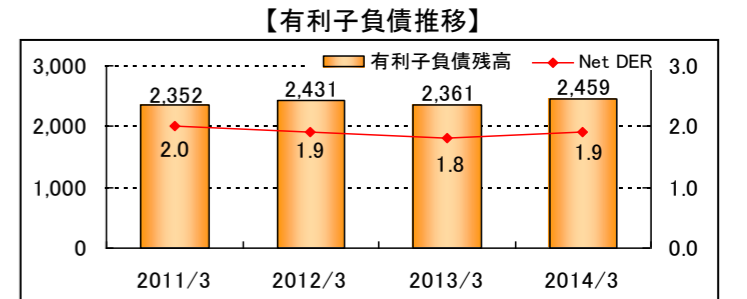
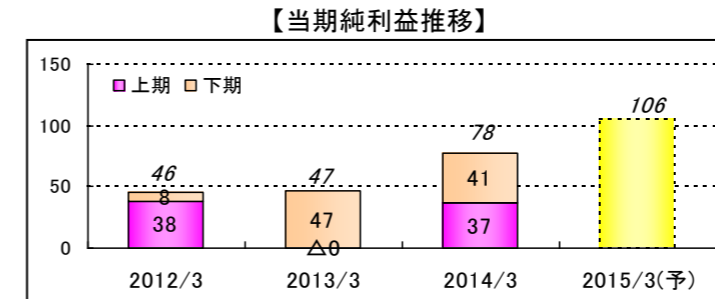
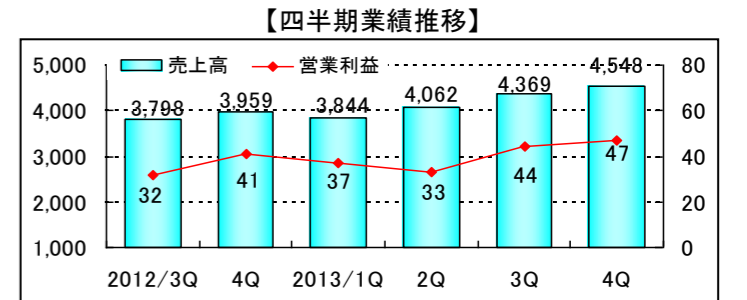
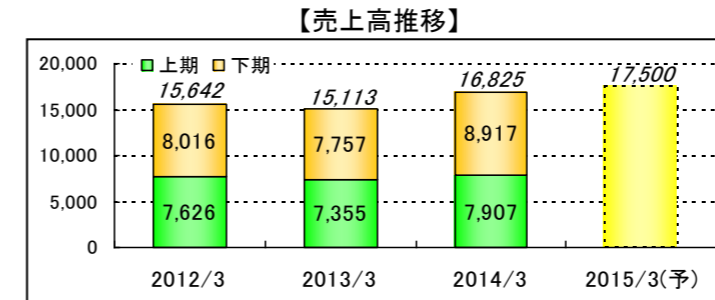
セグメントの状況	売上高			セグメント利益(経常利益)			主な要因
	当期	前期	増減率	当期	前期	増減率	
鉄鋼	8,110	7,181	13%	138	95	45%	(鉄鋼) 製造業向けが堅調な中、建設向けも民間投資、復興・復旧、インフラ分野で活況に。鋼材市況も持ち直したことから、店売り採算が改善。 (金属原料) ステンレス原料販売は低調も、合金鉄・ニッケル化合物の販売増や為替差損の減少が収益を押し上げ。 (非鉄金属) 国際市況は弱含みも円安により円貨額は横ばい。貴金属屑の拡販や為替差損の減少が収益に寄与。 (食品) 国内需要は低調推移。円安への転換により、サケ・エビなどの価格が反転・上昇し、採算が改善。 (石油・化成品) 産業用燃料や合成樹脂加工品の採算は低迷するも、船用石油の拡販が収益に寄与。
金属原料	979	947	3%	17	3	449%	
非鉄金属	775	732	6%	8	6	22%	
食品	786	838	△6%	15	7	113%	
石油・化成品	4,990	4,442	12%	19	16	15%	
報告セグメント計	15,643	14,142	11%	199	130	53%	
その他	2,009	1,674	20%	△2	12	—	
合計	17,652	15,817	12%	197	142	38%	
調整額	△827	△704	△17%	△50	△53	7%	
PL計上額	16,825	15,113	11%	146	88	66%	

トピックス

- ・10月 HANWA STEEL SERVICE MEXICANA, S.A. DE C.V. が稼働開始
- ・10月 鋼材卸売業の三栄金属(株)を連結子会社化
- ・11月 コラム加工業の北陸コラム(株)を子会社化
- ・1月 HANWA CHILE LTDA. をチリ/サンティアゴに設立
- ・2月 HANWA AMERICAN CORP. がシカゴ事務所を開設

財政状態	当期末	前期末	前期比		主な要因
			増減	増減率	
総資産	5,933	5,529	404	7%	(総資産) 売上高の増加に伴う売上債権や在庫の増加に加え、保有する上場投資有価証券の価格上昇などにより、前期末比7%の増加。 たな卸資産 1,146億円(前期末比 +19%) (負債) 売上高の増加に伴う仕入債務の増加や借入金・社債の増加などにより、前期末比8%の増加。 有利子負債は4%増加し、ネットDERは1.9倍に微増。 (純資産) 当期純利益の積み上がりやその他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定の増加などにより、前期末比4%増加も、自己資本比率は20.6%(前期末比 △0.8ポイント)に。
(流動資産)	4,683	4,353	330	8%	
(固定資産)	1,250	1,176	74	6%	
負債	4,679	4,322	357	8%	
(グロス有利子負債)	2,459	2,361	98	4%	
(ネット有利子負債)	2,298	2,128	170	8%	
Net DER	1.9倍	1.8倍	0.1倍	4%	
純資産	1,253	1,206	47	4%	
(株主資本)	1,207	1,170	37	3%	
(その他の包括利益累計額)	18	11	7	64%	
(少数株主持分)	27	24	3	13%	
B P S	591.68円	570.50円	21.18円	4%	
自己資本	1,226	1,182	44	4%	
自己資本比率	20.6%	21.4%	△0.8pt	—	

キャッシュ・フロー	当期	前期	前期比		主な要因
			増減	増減率	
営業活動によるCF	3	193	△190	△98%	(営業CF) 事業収入増加も資金需要増により、+3億円。 (投資CF) 投資有価証券の取得などにより、△52億円。 (財務CF) 有利子負債の返済や配当支払いにより、△49億円。
投資活動によるCF	△52	△51	△1	3%	
財務活動によるCF	△49	△163	114	△70%	
現金及び現金同等物	159	231	△72	△31%	



来期の見通し	来期業績予想	当期実績	対前期増減率
売上高	17,500	16,825	4%
営業利益	198	162	22%
経常利益	175	146	19%
当期純利益	106	78	34%

配当の状況	前期実績	当期実績	来期予想
中間期	4.00円	6.00円	6.00円
期末	8.00円	6.00円	6.00円
年間配当	12.00円	12.00円	12.00円
配当性向	53%	32%	24%